JR九州労組ニュース
No.53
2022年
4月25日
九州旅客鉄道労働組合
発行責任者 芦原 秀己

小郡市議会議員選挙

佐藤源氏当選

任期満了に伴う小郡市議会議員選挙は、４月 24 日に投開票され、ＪＲ九州労組が推薦した現職の「佐藤源氏（ＵＡゼンセン・ベスト電器労組出身）」が、1,202 票を獲得し、２期目の当選を果たした。投票率は 49.81％と 2018 年の前回を 5.32 ポイント下回った。

小郡市は、４月に市政施行 50 年を迎え、農業を基幹産業と位置づける一方、福岡都市圏のベッドタウンとして人口を増やしてきた。今後、人口減少社会を迎え、街の発展が岐路にさしかかる中、選挙戦は、定数 18 に対し現職 13 人、新人７人の 20 人が立候補し、長期的な将来像の論戦が展開された。

佐藤氏は、多くの労働組合からの推薦を取り付けるとともに、国会議員からも支援を受け、地元後援会やベスト電器労組を中心に、組織力をフルに発揮した選挙戦を展開。少数激戦の中、見事９位で当選した。

第 26 回参議院議員選挙長崎県選挙区

白川鮎美氏の推薦を決定

ＪＲ九州労組は、４月 21 日に開催した第 11 回中央執行委員会で、７月に施行予定の第 26 回参議院議員選挙に長崎県選挙区から立候補予定の「白川鮎美氏」の推薦を決定した。

白川氏は、株式会社Ａｓｈ代表取締役や認定ＮＰＯ法人ＢＰＷ連合会長崎クラブ副会長などを歴任し、現在は、立憲民主党長崎県総支部連合会副代表。

連合長崎も２月に白川氏の推薦を決定しており、ＪＲ九州労組も長崎地本を中心に取り組むこととしている。